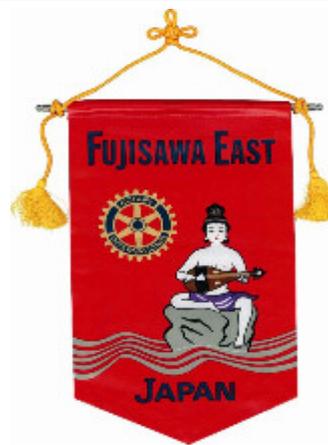




Be a gift
to the world

2015~2016



藤沢東ロータリー・クラブ週報

- 事務所／藤沢市朝日町 1-6
NTT 藤沢ビル 2 階 TEL 0466-25-4000 FAX 0466-26-9292
- 会長／小柴智彦 幹事／村上進
毎週火曜日 12:30~13:30
- 例会場／湘南クリスタルホテル
藤沢市南藤沢 14-1 TEL 0466-28-2111 FAX0466-28-2126

第 1927 回例会 2016 年 5 月 17 日 (火) (天候) 晴れ No.39

点鐘

開会

ロータリーソング「我らの生業」

「4つのテスト」SAA 「理念」幹事

ゲスト・スピーカー・ビジター紹介

スピーカー：江ノ島電鉄部長代理 中沢俊之様

ビジター：藤沢RCより川上彰久様

会食・懇談

-会長報告-

第 11 回理事役員会議事録 5 月 10 日 (火)

開催場所 湘南クリスタルホテル

議長 小柴 智彦 会長

議題

1.クラブ協議会・藤東会 GC 開催について 可決

2.新会員候補者について 可決

日本生命保険 (相) 湘南支社支社長徳山
秀秋様 通常の手順で面接を行う。

3.片岡次年度理事について 可決

次・会長一任で代理を立てて頂 (代行)

4.活動報告書、活動計画書、会員名簿の作成に
ついて。 可決

活動報告書は事務局でコピー。

活動計画書、会員名簿は印刷・製本する。

5.塩釜東 RC 記念式典へのクラブからのお祝い
金について 可決

クラブから 3 万円のお祝い金

6.4 月度会計報告について 可決

通帳の数を減らすか、次年度に向けて検討

7.その他 可決

・ロータリー旗、日章旗、正絹でそれぞれ購入
する。

・ラダックについて今後関わるかどうか。
地区でもクラブでもノートを含め、支援を中
止する。

・フィリピン 水プロジェクト終了 可決

・フィリピン障害者プロジェクト 可決

-幹事報告-

・5 月 21 日 (土) 13 時~16 時クラブ幹事事務
局研修会が相澤ビルにて開催されます。

・6 月 7 日 (火曜日) 16 時~17 時半 次年度地
区会員増強・維持セミナー開催されます。

・下半期活動報告の作成の依頼を事務局からお流
ししています。5 月末までに作成の上、出来るだ
けデータでご送付いただける様、お願い致します。

-会員&配偶者誕生日-

会員誕生日

鈴木和夫会員

石井 博会員

配偶者誕生日

大久保会員の奥様、美智子様

林会員の奥様、由美様

-委員会報告-

・林次年度幹事より、本日 17 時半よりプログラ
ム委員会と親睦委員会合同委員会開催のご案内。

・梶浦社会奉仕委員長より、塩釜東 RC 周年行事
祝参加の呼びかけおよび状況報告。

-表彰-なし

-卓話-「顧客視点に立った広域観光について」
江ノ島電鉄 部長代理 中沢 俊之 様

出席報告

例会月日	総員 (名)	出席 (名)	欠席 (名)	出席率 (%)	メークアップ (名)	修正出席率
4月19日	34 (30)	22	8	73.33	3	83.33
5月17日	34 (32)	26	6	81.25		

-スマイル-



【川上 彰久 様（藤沢RCより）】

お邪魔いたします！よろしくお願いいたします。

【小柴 智彦 会長】

江ノ島電鉄中沢様、本日の卓話宜しく申し上げます。
川上様、ようこそ！

【鈴木 和夫 会員】

誕生日祝いを有りがとうございます。

エール大学のコンサート、7月27日（水）に決まりました。ご協力宜しく申し上げます。

【石井 博 会員】

本日、私の誕生祝をしていただき大変ありがとうございます。これからも身体の健康に留意して頑張っ
て行きます。

【本田 昌子 会員】

中沢様、本日の卓話楽しみにいたしております。
吉田成江さん、お叱りのお電話身にこたえました。
感謝しております。

【大久保 雅晴 会員】

妻の誕生祝ありがとうございました。忘れておりました。

【山口 俊明 会員】

中沢部長代理様、過日は講演のお願いを快くお引き
受けくださり感謝申し上げます。本日はよろしくお
願いいたします。

【林 葉之 会員】

My Lovely の誕生日のお祝いをいただきありがとう
ございました。中沢様、卓話楽しみにしております！

会員誕生日



小柴会長と石井会員、鈴木和夫会員

国際奉仕委員会 林委員長



社会奉仕委員会 梶浦委員長



-卓話- 「顧客視点に立った広域観光について」
江ノ島電鉄株式会社 部長代理 中沢 俊之 様



顧客視点に立った広域観光

江ノ島電鉄株式会社



はじめに

年間2300万人が来訪する鎌倉は、様々な趣ある神社仏閣が点在する武家の古都として、昔から国際的にも支持される観光地として栄えてきました。近年では古民家カフェや雑貨店など、若者も惹きつける観光地として変化を遂げています。

他方、年間1700万人が来訪する江の島は、島内の観光施設のリニューアルを契機に様々なイベントを通じて、以前の観光地「江の島」からのイメージを一新させ、多くの若者を引き付ける観光地として進化しています。特に冬場における状況は「湘南の宝石」を中心とした夜間イベントの開催により、年間を通じて最大の来訪月となるなど、観光地としての大きな転換が図られています。

好調な観光地だからこそその課題、問題、懸念が...

観光地間の競争激化 **慢性的な混雑** **受入態勢の不備** etc

今後、好調な観光地の持続的な発展の足枷となる

鎌倉・江の島の現状

2012年～2013年に実施した、鎌倉・江の島における100km圏内調査においてわかった事は。

- ・1年以内の来街率は23.7%で、これら来街者は平均2.1回来訪している。
- ・来街者の居住エリアは神奈川・東京で全体の8割を占める。
- ・来街者の性年代別の差異はあまり見られず幅広い層が来訪している。
- ・アンケート回答者の60%近くが鎌倉と江の島を回遊したい意向があるが、実際に回遊するのは1割程度。
- ・鎌倉～江の島エリアにおける不満は混雑や渋滞などがほとんど。



来街者と潜在来街者

来街者(1年以内に来訪された23.7%の方)と潜在来街者(3年以上来訪されていない方)の捉え方は、来街者が**エリアへのリピート率が高い、「コアユーザー」**。一方、潜在来街者は様々な情報等により**他の観光地も選択肢にする、「一般ユーザー」**といえます。
では、「コアユーザー」と「一般ユーザー」とを分ける価値感の違いは...

コアユーザー

・古い寺社仏閣と行楽地が江ノ電で結ばれていて、気分により楽しみ方が変えられる。(52歳男性)
・古き良き伝統や情緒を残しながらも、楽しいスポットや飲食店が発展。(27歳女性)
・気軽に行ける歴史深い街であり、流行を先取りしている印象。(30歳男性)

持っているイメージの抜粋

江の島～鎌倉を一つの枠組みで捉え、様々な魅力・楽しみがある事に気付いている。

一般ユーザー

・日本の古都のイメージでお寺が多く存在し京都に近いイメージ。(51歳女性)
・海水浴で非常に混んでいるイメージ(39歳男性)
・鎌倉は古都で落ち着いた大人の観光地
一方、江の島はファミリーが楽しむ観光地(66歳男性)

持っているイメージの抜粋

鎌倉は鎌倉、江の島は江ノ島で捉えており、ステレオタイプなイメージとして持ち合わせている。

広域観光エリアの考え方

江の島と鎌倉を広域観光エリアとして捉える意義は、現状でも触れたとおり来訪者の約6割が江の島と鎌倉の回遊意向があるにもかかわらず、実際に回遊しているのは1割程度。回遊していない5割は潜在来街者「一般ユーザー」として存在している可能性があります。

選ばれる観光地を目指す上では、この「一般ユーザー」をいかに「コアユーザー」に変えていくかが重要です！

それには

一般ユーザー

鎌倉は鎌倉、江の島は江ノ島で捉えており、ステレオタイプなイメージとして持ち合わせている。

変化

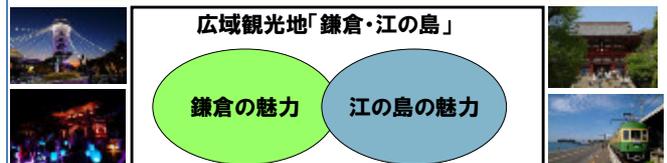
コアユーザー

江の島～鎌倉を一つの枠組みで捉え、様々な魅力・楽しみがある事に気付いている。

広域的な観光地として価値を気付かせ、ステレオタイプからの脱却が重要。

江の島と鎌倉が広域エリアとした場合の得られる果実

鎌倉・江の島の優位性は、四季折々の魅力(景色・食べ物・イベント・風情等)が沿線の様々なロケーションで変化し、それらが一体となって来訪者に提供する価値と言えます。この価値により**コアなユーザーを醸成し観光地間の競争を優位に出来る事となります。**



一体とした観光地としての魅力を高める事で優位性を発揮！

得られる果実

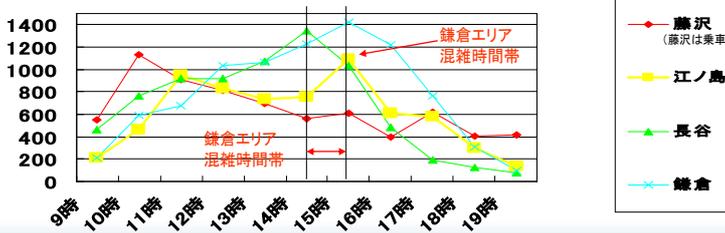
リピーター獲得によって観光地間競争が優位に働く



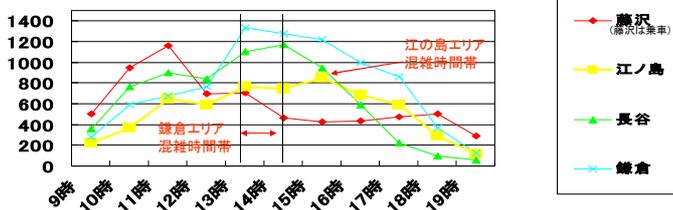
時間別観光の考え方

江の島と鎌倉の隣接する観光地は、その観光資源の違いから来訪時間に差異が生じています。しかしながら、隣り合わせの観光地だからこそ1日を有効に活用した観光の提案が可能となります。

主要駅の時間帯別降車人員 4月2日(土)



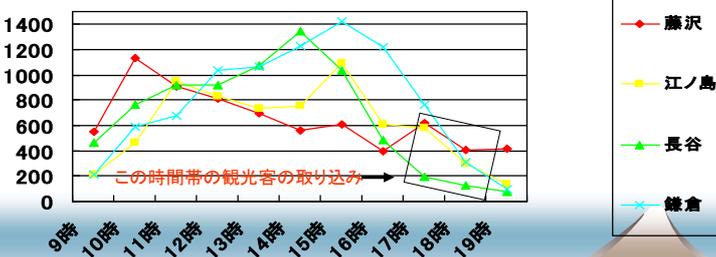
主要駅の時間帯別降車人員 4月3日(日)



鎌倉地域は10時から徐々に増え、13時～16時頃にピークを迎えた後、収束する。一方、江の島は、最大ピークは15時台でありその後、夕刻の減少は鎌倉よりなからかである。これは、江の島の夕景を目的とした観光により、江ノ島駅での降車客が発生しているためと思われる。

時間差観光の意義

首都圏に近い観光地のメリットを最大限発揮できる時間差観光は、夕景を売りにした鎌倉から江の島方面への誘導で成果を挙げました。現在、13時台から16時台に最混雑をむかえる鎌倉エリアについては、新たに長谷方面への夕方からの周遊を提案しています。この様に時間差観光の取り組みは、混雑が問題となっている江の島・鎌倉の新たな観光需要の喚起に繋がると考えられます。



時間差観光の実施例

昨年、試験的に実施した時間差観光「長谷の灯り2015」は、10日間開催で約8000人を集客。一定の成果が図られた事から今年度より本格的な企画として展開していく予定です。

- ・イベント名称
長谷の灯り2015
- ・目的
長谷エリアにおける夏季の地域振興。海外来訪者への文化コンテンツ強化。夜間来訪機会の醸成。
- ・期間
2015.8.22～8.30
- ・主催
長谷の灯り実行委員会
- ・来訪者数
7,937名(18時以降)



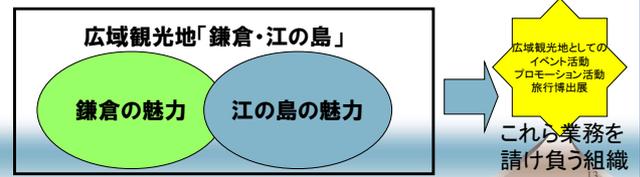
訪日外国人の獲得

近年、旺盛なインバウンド需要は江の島、鎌倉における入込観光客数の増加に大きく寄与しています。混雑が課題となっている両観光地においては、日本の休暇サイクルとは異なる訪日外国人の獲得は施策上、重要となります。現在の鎌倉と江の島の訪日外国人については、来訪者の国籍に差異が生じていますが、両地域に対する外国人のイメージ調査で分かった事は、エリアの魅力として、「神社仏閣を中心とした街並みと、海を中心としたロケーションの良さが共存している点」と捉えており、一体的なエリアの魅力を否定して来訪エリアの差異が生じている状況ではない事から、プロモーションいかんでは国籍を問わず周遊可能な観光地に変化する可能性を秘めています。



今後の展開

顧客視点における広域観光については、インバウンド誘客も含め江の島と鎌倉の一体的なエリア感の醸成により優位性が発揮されると考えており、両地域の旺盛な観光需要も時間帯でみれば、まだ受け入れ可能なキャパシティが残っていて、隣接する観光地だからこそ、その施策も効果が発揮されるのではないのでしょうか？この事からも、江の島と鎌倉を一体的にプロデュースしエリアプロモーションを図ることが肝要となり、これらの業務を行う組織作りが必要と考えます。



まとめ

広域観光を含め観光誘客については、外部環境、内部環境に基づく適切なマーケティング調査により、顧客視点を深めたニーズ把握を図った上で、提供価値を見定める必要がある。肝要なのはマーケティング視点に立った仮説とその検証により導き出す答えとなります。鎌倉と江の島といった隣接する観光地であり、行政区分が異なる観光地といった事業環境から、広域観光として両地域を一体的に構築する事は当社の使命と捉え、様々な課題にチャレンジしています。

ご静聴ありがとうございました。

江ノ島電鉄株式会社 資料作成

江ノ島電鉄 <https://www.enoden.co.jp/>

日本と台湾『旅をしませんか』 江ノ電と平溪線がつなぐ日台交流 PV が完成



<https://www.youtube.com/watch?v=ejq3HoHCIX8>